



日本共産党 北区議会議員

のの山けん 区政レポート

<https://ken-nonoyama.com/> mail@ken-nonoyama.com

No.761 2025.9.17

日本共産党北区議員団

〒114-8508 王子本町1-15-22

ご相談は
お気軽に **090-2156-3510**

国交省による再開発事業への補助金対象絞り込み

赤羽再開発のゆくえは？



質問する野口まさと区議

区議会本会議 野口まさと議員が代表質問

北区議会第3回定例会初日の8日、日本共産党区議団の代表質問で野口まさと議員が登壇。平和、物価高騰対策、多文化共生、生活保護基準切り下げ裁判などの課題とあわせ、まちづくりについて山田区長に質疑を行いました。（のの山けん）

.....

野口議員は、国交省が3月に発表した市街地再開発事業に対する補助金の見直しについて質疑。国交省は、物価高騰による建設コストや人件費が上昇し、再開発事業費が大幅に拡大していることから、社会資本整備総合交付金による支援の対象を、必要性・緊急性の高い事業に絞り込み、それ以外の事業には交付しない

赤羽「中央地区」は補助対象外に？

これを受け、野口議員は、「この要綱改定によって、現在検討されている赤羽一丁目中央地区の市街地再開発事業は、補助金による支援の対象から外れるのではないか」と質問。区は、

「赤羽駅周辺地区のまちづくりを着実に進めるにあたっては、中央地区市街地再開発事業は事業の必要性・緊急性が高いと認識している。今後、国の支援制度を活用できるよう検討していく」などと答えました。

野口議員はさらに、先に策定した赤羽駅周辺地区

まちづくり基本計画を受けて年度内に立ち上がる新たな会議体では、今回の支援見直しとあわせ、巨額の税金投入となる補助金のあり方について地域・関係住民の意見もしっかり聞き、徹底して議論するよう要請。区は、「検討プロセスの各段階で適時・適切に、区民意見等を聴取し、必要な意見交換等を行っていく」と答弁しました。

何が何でも再開発推進にしがみつく

国交省の基準に照らせば、「中央地区」は必要性・緊急性が高いとはいえず、補助対象から外れることは明らかですが、区が「支援制度を活用できるような検討」と強弁していることは、何が何でも再開発を進めたいという姿勢の現れです。赤羽再開発のゆくえは、どうなるのでしょうか。

エアコン助成 区議会で可決

高齢者・障害者を対象に省エネエアコンが8万円の値引きになる東京ゼロエミポイントの拡充に上乗せする形で、最大7万円のエアコン購入費助成事業費を計上した北区の一般会計補正予算が、17日に北区議会で可決されました。

一時立替えなしで上乗せ 助成可能なくみに

● 企画総務委員会で、のの山区議

北区の上乗せ助成は、エアコン購入時に値引きされた残りの分を現金で支払った後、区に申請をして同額を還付してもらう方式です。

私は16日の企画総務委員会で、「都の制度で8万円値引きされても、残りの分が工面できない人がある。本人の一時立替えなしで助成が受けられるしくみをつくるべき」と求めました。(のの山けん)

若者の 相談・支援の 拡充を

山崎 たい子 議員



若者のための相談・ サポート窓口の設置を

若者の相談支援では、「普通の青年が誰にも頼れず、闇バイトに簡単につながってしまう」という、若者をサポートするNPO法人職員の話を紹介

山崎議員は個人質問で、①障害者福祉センターの改修など障害者福祉の充実、②女性支援新法にもとづく支援調整会議の進捗など女性の相談支援、③若者の相談支援の3点について質疑しました。

し、こども家庭庁の調査でも、145万人の若者が「誰にも相談できない」、22万人が「どこにも居場所がない」と答えているとして、若者のために、わかりやすい相談・サポート窓口を設置するよう求めました。

さらに、URの空き家・空き地を活用して若者の居場所を創出している豊島区の例を示し、民間法人とも連携し、困難を抱える若者への住まいの提供、誰でも活用できる居場所づくり、就労・社会参画の機会創出などに取り組むよう求めました。

北区民主商工会
夜のオリエンテーリング

東十条で食べ歩き・飲み歩き



11日、北区民商の夜オリに参加し、東十条の居酒屋、スナックなど3軒のお店で食べ歩き・飲み歩き。今回も参加者が300人を超える大イベントになりました。(のの山けん)